精　度

■梁の寸法不良 ①

鉄骨建造物の精度は、設計図面や仕様書などに指示されている。

鉄骨工事は、工場で製作された部材を現場で組立てる工事で、大きく2つの工程に分けられる。工事の精度は、工場で製造した部材と、現場の組立との両方に対して要求されどちらかでも悪ければ、建物の精度は良くならない。とくに大規模な建物では部材の精度が良くても、建方の方法、順序、基礎変化などにより建方に問題のある場合には、誤差が累積されて大けに精度を悪くした、実例がある。

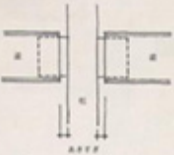
一般に工場製造時では、工作図の検討、現寸検査、製品検査などで、現場施工時では、建方計画の検討、建方終了時の時組検査などにより精度の確認をしている。

処　置

設計上の検討をおこない耐力上に問題があれば、梁取付部分を添接・添材の取付などの補強する。

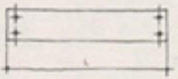
内　容

柱と梁との取付部分のあきが大きすぎる。工場製作時の寸法間違いであった。



監　理

梁の精度は下記のように決められている



日本建築学会 "鉄骨工事技術指針" (昭和52年2月)

MEMO